

浜松城

静岡県浜松市



写真1 浜松城

浜松城は、徳川家康が29歳から45歳までの17年間を過ごし、天下取りの基盤を築いた城である。家康が遠江進出のために、室町時代からあった曳馬城を元に建てた。江戸から京との中間に位置しており、交通・軍事・経済等の要地であったため、浜松藩の城主は徳川家に古くから仕える譜代大名から選び抜いて任されることが多く、将来の幹部候補の育成場所になっていた。その結果、浜松城主になった人物の多くが後に幕府の重要ポストに就き、浜松城は出世城とも呼ばれている。

明治維新後に廃城となり取りこわされたが、天守閣は1958（昭和33）年に再建された。築城当時の姿を遺す石垣や土塁、地下に残存する城郭遺構は、後世に歴史を伝える「浜松城跡」として、1959年に浜松市指定文化財（史跡）に認定されている。2017年には、続日本100名城に選定された。春は桜、秋は紅葉の名所としても知られ、週末には浜松城公園や葵広場で様々なイベントが開催され憩いの場となっている。

※）表紙写真及び写真1 写真提供：浜松・浜名湖ツーリズムビューロー

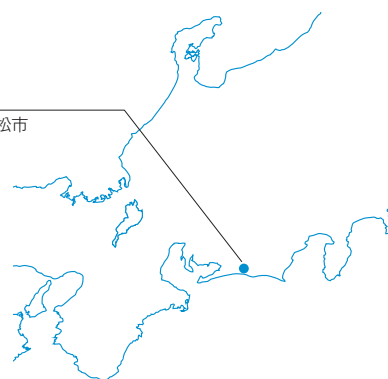


写真2 浜松城公園の徳川家康公像

（表紙の写真）

浜松城

場所：静岡県浜松市



<参考>

浜松城公園

<https://www.entetsuassist-dms.com/hamamatsu-joyo/guide/hamamatsu-castle/>

■アクセス

- JR 浜松駅からバス約 10 分
- 東名高速道路浜松 IC から約 30 分